

米国 受注額は5ヵ月連続で減少（08年12月製造業受注）

発表日：2009年2月6日（金）

～1-3月期も機械・ソフトウェア投資は減少が続こう～

第一生命経済研究所 経済調査部

近江澤 猛(おおみさわ たけし)

03-5221-4526

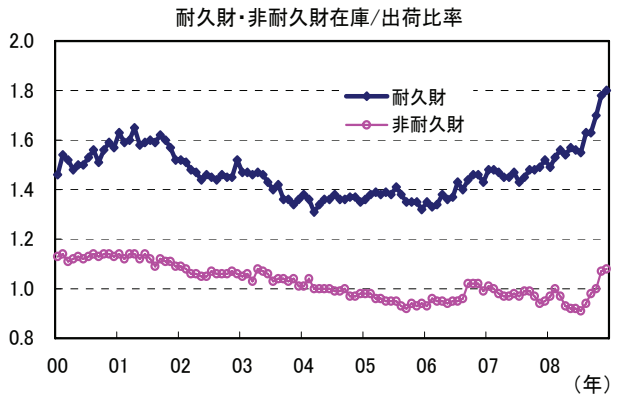
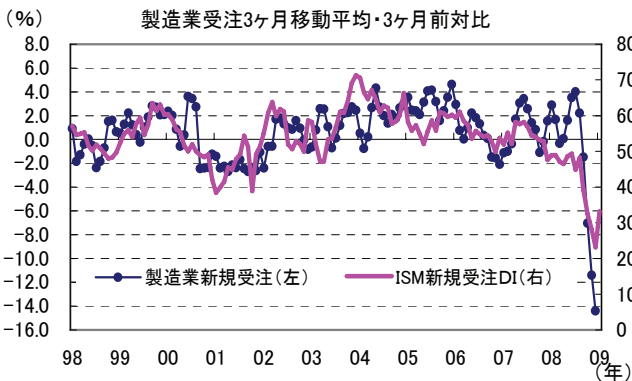
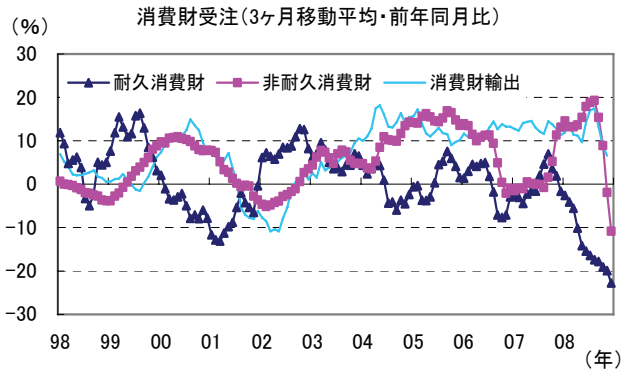
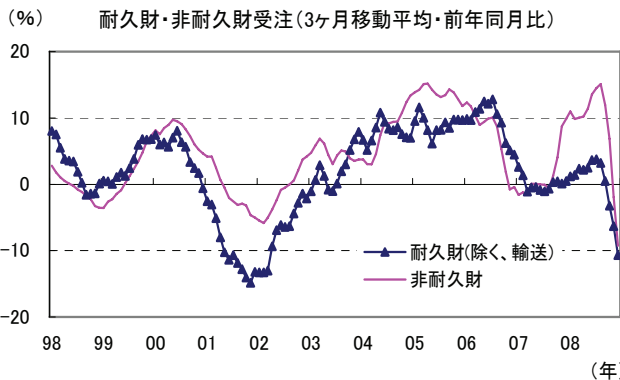
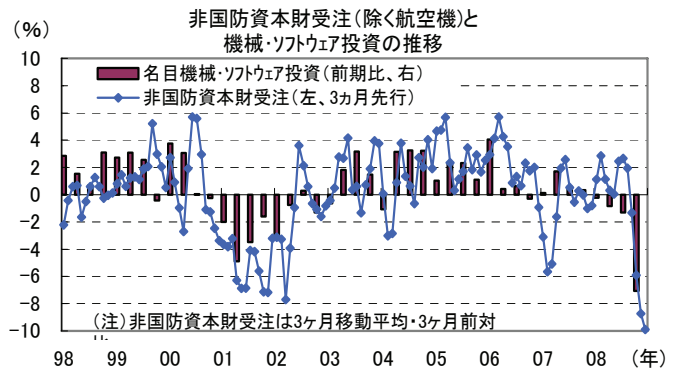
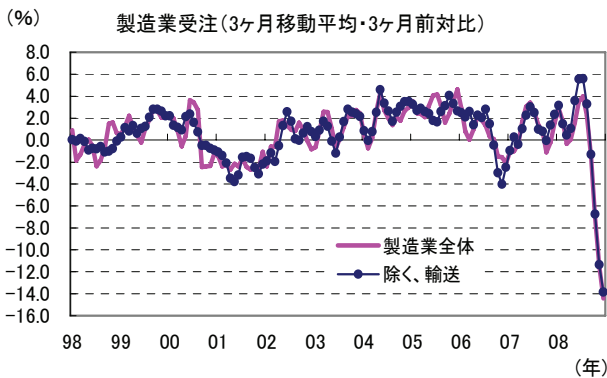
- 12月の製造業受注は前月比▲3.9%（前年同月比▲18.3%）と、前月同▲6.5%（同▲13.8%）から前月比のマイナス幅は縮小したが、世界的な景気減速による内外需要の減速と国際商品価格の下落により5ヵ月連続で受注は減少した。変動の大きい輸送機器を除くと前月比▲4.2%（前年同月比▲15.2%）、前月同▲6.0%（同▲10.8%）と、こちらも5ヵ月連続で大幅に減少した。耐久財、非耐久財でみると、耐久財は前月比▲3.0%（前年同月比▲21.6%）、前月同▲4.0%（同▲15.9%）と前月からマイナス幅を縮小、非耐久財も同▲4.8%（同▲15.8%）、前月同▲8.7%（同▲11.9%）と前月比のマイナス幅を縮小した。しかし、08年の8月から下落を続けているエネルギー・資源価格の下落ペースが鈍化してきたことも影響していると考えられ、数量ベースでのマイナス幅縮小は見た目の数字よりも小さいとみられる。
- 機械・ソフトウェア投資の先行指標である非国防資本財受注（航空機除く）は前月比▲3.2%（前年同月比▲12.1%）と前月の上昇（前月比+1.1%）から再び減少に転じた。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比で▲9.9%と前月▲8.7%、前々月▲5.9%から減少ペースが加速しており、09年1-3月期にかけて名目機械・ソフトウェア投資はマイナス幅の拡大が予想される。
- 耐久財受注を財別にみると、一次金属が前月比▲7.1%（前月同▲5.2%）と需要減と金属価格の低下により5ヵ月連続で減少。加工金属が同▲4.1%（同▲2.3%）、機械が同▲5.7%（同▲2.8%）、コンピュータ・電子製品が▲6.5%（同+4.0%）といずれも減少ペースが加速した。輸送機器は同▲0.2%（同▲9.9%）と小幅な減少に留まったが、変動の大きい国防航空機・同部品と船舶・ボートの受注が押し上げたため、自動車・同部品と非国防航空機・同部品は低迷が続いている。家具・同関連製品は同+4.5%（同▲3.5%）と6ヵ月ぶりに上昇した。
- 出荷、新規受注が急速に減少していることから耐久財、非耐久財とも在庫率の上昇が続いており、今後、生産調整が深まることが示唆される。
- 今後の製造業受注だが、1月のISM製造業指数の新規受注指数が33.2と12月の23.1から5ヵ月ぶりに上昇に転じており、1月は新規受注の減少ペースの鈍化が予想される。1-3月期は雇用環境の悪化や消費者マインドの悪化、個人向け融資基準の厳格化を背景とする深刻な消費の低迷と企業収益、企業マインドの悪化による設備投資意欲の減退に加え、海外経済の減速による輸出受注の鈍化により、製造業受注は前期比マイナスが続くと予想される。

製造業受注 (Manufacturers' Shipments, Inventories and Orders)

	出荷			受注						在庫		
	製造業		非国防資本財	製造業		非国防資本財		製造業		非国防資本財		
	除く輸送機器	除く航空機	除く輸送機器	除く輸送機器	除く航空機	除く輸送機器	除く航空機	除く輸送機器	除く航空機	除く輸送機器	除く航空機	
08/01	+1.1	+0.7	▲0.4	▲2.4	(+7.3)	▲0.4	(+8.1)	▲0.8	(+5.0)	+1.3	+1.3	+0.5
08/02	▲1.9	▲1.6	▲1.3	▲0.4	(+5.1)	▲1.6	(+5.3)	▲0.9	(+4.5)	+0.6	+0.5	+0.6
08/03	+1.1	+1.9	+0.8	+1.5	(+4.2)	+2.6	(+6.9)	▲1.0	(+0.1)	+0.9	+0.8	+1.3
08/04	+2.7	+2.9	+1.0	+1.3	(+4.0)	+2.8	(+8.1)	+3.1	(+1.3)	▲0.0	▲0.2	+0.4
08/05	+0.3	+0.9	+0.2	+0.9	(+5.4)	+0.8	(+7.9)	▲0.3	(+2.5)	+0.6	+0.5	+0.1
08/06	+1.9	+1.9	+0.6	+2.1	(+7.5)	+2.7	(+12.1)	+1.6	(+5.5)	+1.2	+1.3	+0.5
08/07	+1.4	+1.3	+0.3	+0.7	(+4.7)	+0.5	(+10.0)	+0.3	(+4.3)	+0.6	+0.5	+0.6
08/08	▲3.7	▲3.1	▲2.1	▲4.3	(+3.9)	▲3.6	(+8.2)	▲2.3	(+1.6)	+0.7	+0.7	+0.7
08/09	▲3.1	▲3.8	+1.7	▲3.1	(+0.9)	▲4.3	(+3.1)	▲3.4	(▲1.7)	▲0.8	▲0.9	+0.1
08/10	▲3.6	▲3.4	▲3.7	▲6.0	(▲6.3)	▲5.1	(▲3.3)	▲6.7	(▲6.1)	▲0.6	▲1.0	+0.3
08/11	▲6.5	▲6.8	▲1.3	▲6.5	(▲13.8)	▲6.0	(▲10.8)	+1.1	(▲5.1)	▲0.5	▲1.1	+0.0
08/12	▲2.9	▲3.5	+0.6	▲3.9	(▲18.7)	▲4.4	(▲15.2)	▲3.2	(▲12.1)	▲1.4	▲2.3	+0.9

(出所) 米商務省

(注) 前月比伸び率。() 内は季節調整値の前年比。



(出所) 米商務省、ISM

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。